

鷹と云ふ隼は卯の勢くのと鷹と云ふは酉の勢くのと此隼ハのものと彼
 火酢芥命に御裔薩摩國にまゝくそれ故隼人のまゝとも隼人の
 まゝの國とも冠らせいへば隼人の犬吠の故事より隼ハやぐと猶切
 まゝの犬ともいひく犬のまゝとも兼知るむと隼のまゝよりまゝと
 あられより延喜式隼人司云凡元日即位及蕃客入朝等儀官人
 三人史生二人率_二大衣二人番上隼人二十人今來隼人二十人白丁
 隼人一百三十二人分陣應天門外之左右群官初入自胡床起
 今來隼人發吠聲三節 蕃客入朝不在吠限 又凡踐祚大嘗日分陣應天
 門左右其群官初入發吠聲凡遠從駕行 中略 其駕經國界